

# オジロワシ飛び出し

2014年12月3日

8時半に閉伊川に到着する。オジロワシのエサ場付近に大型のクレーンがいる。三陸道の橋脚工事が始まった、対岸にも2台いる。通り過ぎて冬枯れの河川敷に入る。

クレーンを眺め、今シーズンのオジロワシのエサ場を心配しながら20分で切り上げる。工事手前で南側の稜線に止まっているオジロワシを見つける。いつもなら通り過ぎるが今日は初認だ！三脚に600mmをつけ、絞りは1段プラスにする。

9時4分、最初の一枚が撮れた、① ヤッター！キョロキョロするが動きそうにない、環境の変化に驚いているようだ。あとは飛び出しまで睨めっこだ。10時18分に動く、連写する。② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 目の下に特徴がある個体だ！⑨

後片付けしながら河川敷の畑にいる方に声をかける。二十数年前、閉伊川でタンチョウを見つけた人と知り話がはずむ、3日間滞在したという。

スコープ担いでふれあい公園を歩いている人がいる。外見から一目りょう然、ヒゲの知人だ。追いかけて聞くと、今日から3日間、猛禽調査だという。車を置き第2堰堤まで一緒する。オジロの情報を話していると、対岸から頭上を旋回していると無線連絡が入る、こちらでも確認できた、先ほど飛び立ったのだろう。

もう1人の調査員は重茂に行ったとか、3人体制のようだ。

そのあと2回現れ頭上を旋回する、次のエサ場を探しているのだろう。12時過ぎまで談笑して別れる。

①



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨